

図書館員のひみつの本棚 第117回

冬にぴったりの幼児向け絵本です。

『りすともりのあしおと』 こどものとも年少版 2015年12月号

※この絵本はまだ絵本雑誌のみでハードカバーはでていません。

八百板 洋子／文 ナタリーヤ・チェルーシナ／絵

福音館書店 2015年 389円

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年★☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生★☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ゆきがやんだあるひ、ちいさなりすは うめておいたどんぐりをさがしてたべようとします。でもそのたびにもりのどうぶつたちのあしおとが。

さっぷ さっぷ さっぷ さっぷ

ほと ほと ほと ほと

ミシカ ミシカ ミシカ ミシカ

あしおとをきくたびににげだしてしまいうりすは なかなかどんぐりをたべることができません。すると、となりのきから おおきなりすがおりてきていました。

「ぼくのあとについておいで」

<子どもに手渡す時のポイント>

日本の作者が書いた文にロシアの画家が絵をつけた絵本です。動物たちのあしおとが印象的な絵本なので、ぜひ雪の中をそれぞれの動物が歩いて来る様子を想像しながら読んであげてください。その際に、動物が出てくる前に「だれがでてくるかな？」と聞いてあげると、子どもが喜びます。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか